

2025年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 大治町商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価													今後の展開・改善点等	備考						
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D 評価													
				指標	実績数値	達成度	指標	実績数値	達成度	総合評価	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①			目標②					
巡回・窓口相談指導事業	一般的に経営基盤の弱い小規模零細企業を中心に、商工会職員が事業所へ訪問し、融資等の金融相談・申告時期の税務相談・労務相談等経営全般について様々な相談への指導を行うことにより経営及び技術の改善を図り、健全な企業を育成するとともに、創業予定者を始めとした経営全般に係る相談窓口の設置により、経営改善に資する指導を行う。	巡回指導 実企業数 132企業 延べ指導件数 175件 窓口指導 実企業数 390企業 延べ指導件数 941件 課題解決提案件数：39件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 111.6 %)			指標	課題解決提案件数 (達成度 162.5 %)			巡回・窓口指導では、小規模事業者の支援ニーズに対応した支援指導ができた。課題解決提案指導では、事業者の課題に対して、丁寧な対応に目掛け解決に向けた支援に努めた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	巡回・窓口相談時、事業者との対応を丁寧に行い、課題の把握に努める。課題解決のため、柔軟な対応・提案を行い事業者の信頼を得られる指導を行う。		
				目標数値	1,000	実績数値	1,116	目標数値	24	実績数値	39					A		必要性		A	現行どおり		現行どおり	
				目標数値		実績数値		目標数値		実績数値						A		必要性		A	現行どおり		現行どおり	
記帳継続指導	商工会職員が個人事業主等を対象に正しい記帳方法の指導と決算・確定申告書の作成指導を行い、必要な税制の知識を習得する意欲を高め適正な税務申告を行うとともに、経理の自計化や計数管理による経営力の向上に結びつける。	記帳指導実企業数 29企業 (内、機械化委託数：29企業) 年間指導延べ回数 361回 年間指導日数 145日	個人事業主及び経理事務担当者	指標	指導対象者数 (達成度 65.9 %)			指標	課題解決提案件数 (達成度 %)			個人事業主の諸帳簿や決算書を作成することにより、事業主が事業内容の把握や金融のために役立てることができた。青色申告特別控除の適用等、適正な税務申告ができた。	総合評価	B	実施評価	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	本事業の必要性は高いと思われるため、今後も事業のPRと委託事業所の確保に努める。現状に合わせて確実に継続できるような目標を下げる。		
				目標数値	44	実績数値	29	目標数値		実績数値						B		必要性		A	下げる		実施方法①	実施方法②
				目標数値		実績数値		目標数値		実績数値						C		必要性		A	現行どおり			
講習会事業	多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって必要な知識の習得や時事的な問題についての啓蒙を図り、事業者の資質の向上と円滑な事業運営に資することを目的とする。	個別講習会：9回 参加延べ人数：79人 集団講習会：6回 参加人数：33人 創業支援等ネットワーク事業（海部南部地区商工会と共催） 創業支援セミナー：4回 参加者123人のうち30人	小規模事業者及びその事業に従事する者	指標	講習会参加者数 (達成度 105.2 %)			指標	課題解決提案件数 (達成度 %)			小規模事業者の経営力向上や課題解決につながる必要な知識や情報を提供することができた。記帳指導講習会は、会員加入につながり、申告書作成の便を図るだけでなく、記帳が経営にいかんにか大切に啓蒙する良い機会となった。創業支援セミナーを開催することにより、創業予定者の経営・財務に関する疑問・不安を解決する一助となった。	総合評価	A	実施評価	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	記帳指導講習会は、アンケートや各種相談時に、開催日及び時間などニーズの把握に努め、小規模事業者の参加者数の増加を目指す。集団講習会は、話題性や必要性の高いテーマを選択する事で、参加者数増加を図るよう努める。創業支援セミナーについては継続して実施していく。		
				目標数値	135	実績数値	142	目標数値		実績数値						A		必要性		A	現行どおり		実施方法①	実施方法②
				目標数値		実績数値		目標数値		実績数値						A		必要性		A	現行どおり			
若手後継者育成事業	若手後継者である青年部・女性部を中心に、中長期的な経営計画を考え、経営理念や経営ビジョンを明確化することにより、経営内容の見直し、顧客ニーズへの対応、新たな事業展開、販路拡大など時代の変化に対応できる企業を目指すことを目的とする。また、小規模持続化補助金、経営革新計画などへの申請も取り組んでいく。	AIセミナー：2回 参加延べ人数：12人 青年部全国大会 参加人数：1人	小規模事業者	指標	セミナー参加人数 (達成度 60.0 %)			指標	セミナー受講者の満足度 (達成度 135.7 %)			小規模事業者や後継者のニーズに合った講習会を開催し、実践的な知識を習得し、経営ビジョンを描く機会に、経営力向上につながった。	総合評価	A	実施評価	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	若手後継者が中長期的な視点に立って経営に参加できるようにするためにも、セミナー内容の充実を図り継続して実施していく。		
				目標数値	20	実績数値	12	目標数値	70	実績数値	95					B		必要性		A	上げる		現行どおり	
				目標数値		実績数値		目標数値		実績数値						B		必要性		A	現行どおり		現行どおり	
地域振興祭事業（商工まつり）	商工まつりを開催することにより、その集客力を活かして地域経済活動を促進し、商工会活動等のPRの機会とするとともに、社会一般の福祉の増進に資し、もって地域経済の健全な発展に寄与することを目的とする。	大治町商工祭withはる 10月12日(日) 大治中学校 出店事業者数：34企業	町民及び商工会員（小規模事業者に対し商工会事業のPRの場となる）	指標	ブース出店事業者数 (達成度 113.3 %)			指標	課題解決提案件数 (達成度 %)			多くの住民と商工会とのふれあいの場となり、商工会活動等のPRの機会となった。出店事業者にとっては、認知度アップを図ることができ、事業継続の一助となった。	総合評価	A	実施評価	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	小規模事業者に対して商工会事業をPRできるよい機会となっているため、イベント内容等を工夫しさらなる集客力向上を図りたい。		
				目標数値	30	実績数値	34	目標数値		実績数値						A		必要性		A	現行どおり		実施方法①	実施方法②
				目標数値		実績数値		目標数値		実績数値						A		必要性		A	現行どおり			
商店街振興事業（街路灯設置・維持管理事業）	郊外型大型店等への購買力流出などに対応するため、街路灯を設置維持管理することにより、点在する小売店等の活性化、集客力向上につなげ、明るい街づくりを推進する。	既設街路灯の維持に努めた。街路灯維持管理数：63本	小規模事業者	指標	年間維持管理本数 (達成度 210.0 %)			指標	課題解決提案件数 (達成度 %)			事業所周辺を明るく環境にすることにより、地域振興・街づくりにつながった。	総合評価	A	実施評価	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	老朽化した街路灯を撤去し、継続して安全な維持管理を行い、明るく環境・街づくりにつなげていく。		
				目標数値	30	実績数値	63	目標数値		実績数値						A		必要性		A	現行どおり		実施方法①	実施方法②
				目標数値		実績数値		目標数値		実績数値						A		必要性		A	現行どおり			
情報化推進事業	情報通信技術を活用して、会員事業者等にとって有益な経営情報を取得したり、ビジネスチャンスの拡大や、経営の質を高めるための取り組みを実施し、商工業の活性化に寄与する。	随時ホームページ内の商工会事業や各種施策情報を更新し、事業所に情報提供を行った。 リーフレット配布回数：13回	小規模事業者	指標	リーフレット配布回数 (達成度 108.3 %)			指標	課題解決提案件数 (達成度 %)			商工会のホームページを通じて多くの人が会員企業のホームページを閲覧し、ビジネスチャンスが拡大した。また商工会活動や最新の経営情報を広く発信することができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	ホームページを適宜更新・リーフレット等を定期的に配布し、最新情報を提供していく。		
				目標数値	12	実績数値	13	目標数値		実績数値						A		必要性		A	現行どおり		実施方法①	実施方法②
				目標数値		実績数値		目標数値		実績数値						A		必要性		A	現行どおり			

2025年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 大町町商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価											今後の展開・改善点等	備考		
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D 評価							
				指標	実績数値	達成度	指標	実績数値	達成度		総合評価	実施評価	自己評価	調査結果			満足度	補足
異業種交流事業	先進地や先進企業を視察し、事業に資するアイデアやヒントを得る機会を提供する。また、異業種交流の場も提供する。	会員初詣事業 令和8年1月12日(月)開催 参加人数：114人	商工会員	指標	参加者数 (達成度 114.0 %)	指標	(達成度 %)	会員事業所の交流及び情報交換の良い機会となることにも商工会事業を広くPRする場となった。	総合評価	A	実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標②	会員事業者に好評であるため、有益な異業種交流の場として今後も継続して実施していきたい。
青年部・女性部事業 (青年部事業)	若手事業主及び若手後継者の資質の向上を図る。また、商工会組織の担い手かつ地域振興発展の先導役の育成を図る。青年部活動の活性化を図るため、部員増強運動を積極的に推進する。	絆感謝運動・スポーツ大会・クリスマスイベント開催。 県青連・全青連・海部地区青年部連絡協議会参加。 計25回開催 事業参加者数：延べ298人	青年部員	指標	事業参加者数 (達成度 85.1 %)	指標	(達成度 %)	各事業を通じ部員の資質向上が図られ、部員同士の交流により、事業協力などを行えるようになり、事業発展に寄与することができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標②	部員満足度向上のため、事業内容の拡充に努める。
青年部・女性部事業 (女性部事業)	商工業に携わる女性の資質向上を目的とする。女性部活動の活性化を図るため、女性部増強運動を積極的に推進する。	・部員研修会、経営講演会の開催。 県女性連・全女性連・海部地区女性部連絡協議会参加。 計14回開催 事業参加者数：延べ104人	女性部員	指標	事業参加者数 (達成度 69.3 %)	指標	(達成度 %)	研修会や講演会を通じ部員の資質向上が図られ、情報交換の場としても大いに活用された。	総合評価	B	実施評価	自己評価 B 目標達成度 C	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 下げる	目標②	組織強化のため部員数確保に努める。参加者の減少により目標を下げる。
部会・委員会事業	先進地や先進企業を視察し、事業に資するアイデアやヒントを得る機会を提供する。また、異業種交流の場も提供する。	商業部会・工業部会・法人会合同視察研修会 9月21日(日)～23日(火)開催 参加者数：15人 壮年部事業 10回開催、 参加者数：206人	地区内会員事業者	指標	事業参加者数 (達成度 221.0 %)	指標	(達成度 %)	研修会を通じ、会員事業所の交流が図られ、異業種交流に機会にもなり、ビジネスチャンスが広がった。	総合評価	A	実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 上げる	目標②	異業種交流が図れる事業を開催していきたい。参加者数が増加、実績に合わせ目標を上げる。
福利厚生事業	中小企業、小規模企業の経営及び雇用の継続的な安定を図るために、各種共済の普及に努め、企業の健全な育成に資することを目的とする。	各種共済加入者数 小規模企業共済 206人 倒産防止共済 18人 中退金共済 14人 中小企業共済等 405人 その他 140人 事業主及び従業員を対象にした集団健康診断実施。 9月18日(水)開催 事業所数：32企業 受診人数：68人	小規模事業者及びその事業に従事する親族と従業員	指標	各種共済加入者数 (達成度 101.7 %)	指標	(達成度 %)	節税効果の高い小規模企業共済等の加入促進を図り、小規模事業者の安定的な経営に資することができた。また事業主のけが等に対応するための中小企業共済制度についても広く普及を図ることができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標②	小規模事業者が安心して事業に従事するために各種共済の普及に努め、加入者数増加を図る。
労働保険事業	事業主等の委託を受けて、事業主に代わって労働保険料の申告納付、その他労働保険に関する各種の届出等の事務手続きを行うことにより、中小事業主の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図ることを目的とする。	労働保険事務委託 事業所数：68企業 従業員数：281名	労働保険の事務委託を行っている事業所	指標	委託事業所数 (達成度 97.1 %)	指標	(達成度 %)	事業者にとって煩雑な事務手続きを商工会に委託することにより事務の軽減が図られた。	総合評価	A	実施評価	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標②	労働保険制度の内容を広く周知することにも、今後も委託事業所の確保に努める。
青色申告会・法人会	青色申告会・法人会の税務支援・地域貢献の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展のための一助となり、ひいては、商工業の活性化に資することを目的とする。	青色申告会事業 役員会・総会開催 合計2回 法人会事業 役員会・総会開催 合計2回 地域振興事業出店協力 ねんぐ祭参加者数：3人 福祉講演会 (社会福祉協議会へ後援) 1月10日(土)開催 参加人数：180人	青色申告会及び法人会の会員	指標	役員会等・事業開催回数 (達成度 40.0 %)	指標	(達成度 %)	研修会を通じ、会員事業所の交流が図られ、異業種交流の機会にもなり、ビジネスチャンスが広がった。 地域振興事業において、各会の活動をPRすることができた。	総合評価	B	実施評価	自己評価 B 目標達成度 C	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足 より効果的な運営を行うため開催回数を減らした。	目標① 下げる	目標②	青申会・法人会をPRし、事業参加者を増やすことにより、商工会活動の活性化につながる。 現状に合わせ、より確実に継続できるよう目標を下げる。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。